

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回図書館協議会
開 催 日 時	令和6年7月16日(火) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 2時00分から 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 3時25分まで
開 催 場 所	吉川市役所 304・305会議室
出席委員(者)氏名	若林元城・野上文子・中村典子・木村嘉男・高野功・馬場重弘・川上裕子 (敬称略)
欠席委員(者)氏名	相内美帆・二宮秀樹・大塚早希 (敬称略)
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長：岩上勉 同主査：川島和也 同主事：上谷直也 同主事：笹原康友 市立図書館 館長：竹林聡 同チーフ：森田幸子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議事 (1) 令和5年度事業報告書について (2) 第3者評価結果報告について (3) 第4次吉川市子ども読書活動推進計画について (4) 調べる学習コンクールについて 5 その他 6 閉会  <div style="text-align: right;">【全て公開】</div>
非公開の理由	なし
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	・次第 ・ <span style="border: 1px solid black;">資料1</span> 令和5年度事業報告書 ・ <span style="border: 1px solid black;">資料2</span> 第3者評価報告書 ・ <span style="border: 1px solid black;">資料3</span> 第4次吉川市子ども読書活動推進計画(素案) ・ <span style="border: 1px solid black;">資料4</span> 吉川市図書館を使った調べる学習コンクール
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	野上文子・木村嘉男 (敬称略)
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

事務局	1 開会
	2 あいさつ
高野会長	－ 会長あいさつ －
	－ 会議録確認者決定：野上委員・木村委員 －
	3 議事
	<b>(1) 令和5年度事業報告書について</b>
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料1に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
中村委員	障がい者サービスの資料貸出期間について、2週間から1か月に運用変更をいただき感謝する。また先日、図書館を訪れた際、気になっていたLEDについて確認したが、明るすぎることなく、床も反射する素材ではなかったのもとても良くなったと思う。
	新設されたカフェコーナーの自販機について、視覚障がいを持っている方が一人で使用するには難しいと思ったので、受付の方に、白杖を持って一人で来られた方には、断られるかもしれないが声をかけてもらうようお願いをした。
高野会長	中村委員に質問だが、貸出期間が長くなったことによる効果など、何か感じられることはあるか。
中村委員	私は実際に借りていないため、効果については解からないが、このサービス変更がしっかりと周知され、利用増加に繋がることを期待する。
川上委員	私は子育てネットワークに所属しており、毎月1回、出前講座として市内の公民館で読み聞かせや手遊び、親子で遊ぶ工作などの講座をスタッフと共に実施している。また、0歳から6歳までの未就学児が遊ぶことができる、美南と中央の子育て支援センターでは毎週読み聞かせを実施し、そこでは大型絵本が子どもたちに喜ばれるため市立図書館から借りるが、蔵書している絵本が古く、カラフルな大型絵本の蔵書を希望する声を多くの方から聞いている。親子で読めるおはなし室以外の場所にも大型絵本を設置されているが、内容が小学校低学年向けだったため、0歳から6歳までを対象とした大型絵本の選書を希望する。

事務局	現在、大型絵本は購入を進めており少しずつ増やしているところである。おはなし室に配架している以外にも貸出カウンターの下に備えてあるため、スタッフにお声がけいただければ提供が可能である。このような話がしっかりと周知できておらず申し訳ない。
高野会長	他に質問はあるか。
野上委員	資料1の5ページに、昨年度の月別利用状況のデータが載っているが、11月の市立図書館や視聴覚ライブラリーの貸出冊数が他の月に比べて落ち込んでいる。何か理由はあるか。
事務局	昨年度、長寿命化改修工事を施工しており、例年6月に行う蔵書点検を11月にずらし、1週間休館をいただいたことによる貸出冊数の減少である。
若林委員	事務局より児童書の貸出が減少していると説明があったが、幼児や小学生、中学生と、そもそもの絶対数が少なくなっているのではないかと感じている。これまでも様々な取組を実施されているかと思うが、おはなし会の回数を増やすことや、児童生徒だけではなく保護者を巻き込んだイベントを企画実施するなど、工夫していくことで、少子化といった中でも結果が変わってくるのではないかと考える。
事務局	ご意見いただき感謝する。
高野会長	子どもたちの読書離れについて、各委員、何が要因だと思われるか。
野上委員	スマートフォンやタブレットを利用することが小さいときから身に付き、本に触る機会が少なくなっていることが要因ではないか。
木村委員	実用的な面で言えばそういった機会の減少が要因だと思う。それ以外にも、例えば感性に響くような物語や文学本に出会えていないことも一つの要因であり、読みたいと思える本に出会えることが少しでも増えていけば良いと思う。
中村委員	親世代が読書離れしているから子どもに繋がらないということも考えられるのではないか。
高野会長	今の時代、動画や映像といったものが主流であり、それが活字離れを起こしている要因ではないかと考える。やはり、本を読むよりも映像を見てすぐに分かる方が子どもたちも反応をし、タブレットのようなツールの普及がそれを助長しているのではないかと思う。そういった状況でも、読み聞かせの活動を継続的に取組み、本に触れる機会を用意することが必要だと考える。
野上委員	最近では、聞く読書を楽しんでいる方がいるようだが、図書館でも貸出を行っているか。

事務局	いわゆるCD文庫という資料になるが図書館でも貸出を行っている。最近ではオーディオブックというものが普及し、多くの方が利用していることから、いずれは整備していくことを検討する。
中村委員	資料に記載のあるTRCというのは何か。
事務局	市民交流センターおあしすは指定管理者制度を導入しており、市から委託されて運営を行っている。おあしすでは三社の民間会社が共同体で運営しており、その中で図書館部分を担っているのが、TRC、図書館流通センターという会社である。
高野会長	他に質問はあるか。 - 質問なし -
	<b>(2) 第3者評価報告について</b>
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料2に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
高野会長	説明にあった、オレンジカフェとは何か。
事務局	認知症の方やその家族、地域住民の方々などが参加し、情報交換やレクリエーションを行っている。市内8か所で定期的を開催していると把握している。
木村委員	資料2の8ページに記載がある、利用者満足度調査の実施方法の課題について、私もアンケート内容が多岐に渡りすぎている部分があるかと感じていた。また、Webから回答できるようにすることも一つの手段だと思うが、一定の回答数を得るためには定点観測も必要である。取捨選択することは難しいが、利用者が回答しやすい形のアンケートの検討を願う。
事務局	ご意見感謝する。 毎年精査しているが、アンケート内容がおあしすと図書館で切り分けられていない部分があるなど、まだまだ解りづらい印象を与えてしまっているため、より良い実施方法、内容について検討し反映する。
中村委員	自動貸出機について、便利だと思うが障がいを持っている方々には扱いづらいこともあるため、これまで通りの貸出も引き続き行い、選択できるようにしてほしい。
事務局	引き続き職員を配置し貸出を行っていく。また、現在は自動貸出機の他に自動返却機や予約した本を取りに来た際に、自動で渡すことができる図書館も増えている。一番の利点は、貸借した本について知られることがないこと、機械がやるため間違

事務局	いが基本的にはないことが挙げられる。吉川市の現状は、自動貸出機の利用率が低く、2割程度に留まっている。他市町の利用状況を聞くと4割程度で推移しているようで、効率化の面からも多くの方に利用してほしい思いもあるが、貸出の際の職員とのコミュニケーションを期待されている方々もいることから、全て自動にするといったことは現状では考えていない。
高野会長	貸出の際に少しの時間でもコミュニケーションを取り、また図書館に来たくなるような声掛けを期待する。
事務局	これから夏休みに入り、図書館を利用する児童生徒も増えることから、本の紹介など対面で行うメリットを職員に伝え、実施していく。
中村委員	5ページの図書館協議会の構成委員について、手話サークルと記載されているが、点字サークルの間違いではないか。
事務局	正しくは点字サークルである。間違いをお詫びする。
高野会長	他に質問はあるか。 - 質問なし -
	<b>(3) 第4次吉川市子ども読書活動推進計画について</b>
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料3に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
高野会長	馬場副会長に質問だが、学校における働き方改革への影響というのは実際いかなるものか。
馬場副会長	令和6年度末までに、教職員の働き方改革の推進に基づき、45時間を超える時間外労働時間の職員を0名にするというのが県の目標である。45時間というと、月の勤務日数が20日だとすると、1日2時間もしくは3時間の時間外労働をするとすぐに超えてしまうような時間である。 現在、子ども達が学校に登校するのがだいたい8時であり、ほとんどの教職員は8時前に出勤し準備をしているため、その段階ですでに30分から40分ぐらいの時間外労働が発生している。また、18時前に退社するというのは、事務量的にも厳しく、45時間以内に抑えるというのは中々難しいのが実状である。 しかしながら、国や県としては確実にこれを実施するよう各自治体に向けて通達がされており、それに伴い各学校においてはゆとりを持たせる形での勤務形態を検討

し始めている。

具体的には、放課後の時間にゆとりを持たせられるように時間の見直しを図っている学校が多い。例えば、8時20分に始業だとすると、8時20分にはすぐに朝の会を始め、8時30分から1時間目の授業を開始するという形に切り替わってきている。これまでは多くの学校で、毎朝8時20分から8時35分を朝活動の時間として帯の時間で確保していたが、それがなくなることによって全体的に時間を繰り上げることができ、放課後にゆとりの時間を確保するというような形である。

これまで朝活動の時間では、朝読書や、読み聞かせの活動をやっていた学校が多く、時間の見直しの結果それができなくなり、子どもたちの読書時間の確保や読み聞かせサークルの方々へ影響が出ていることは事実である。

私の学校においては、読み聞かせサークルの方から時間を変更してでも継続したいという要望があったことから、昼休みの時間に、定期的に読み聞かせの時間を設けることとなった。なお、昼休みは教職員にとっては勤務時間ではないため、次の授業の準備や自由な活動としながら、読み聞かせの活動は進めてもらうという形をとっている。なので、今までは朝活動の時間によって確保されていた読書時間を、今後はどのように働き方改革と並行して進めていくかというのが課題だと感じている。本校において、一つは、昼の休み時間を使い読み聞かせ活動の実施と、二つ目は、年間3回程度、授業の時間を使ってこちらも読み聞かせを実施してもらうことで、従前の形と極力変わらないよう読書活動を進めているところである。

しかしながら、今考えているのは、読書の時間が多くあれば良いのかということではないと思っている。国語の授業では並行読書という言葉がある。例えば『ごんぎつね』の単元を行い、その作者である、「新見南吉」は他にもたくさんの作品を書いていることから、それらを各教室の学級文庫に用意するなど、それぞれの学年に応じて総合的な学習の時間や国語などに関連された図書を、司書教諭および学校図書館司書に協力をいただきながら蔵書している。結果、子どもたちは学校図書館に行かずに、学級内で本を手にとることができ、次に読む本を選択し易くなっている。特に、高学年になればなるほど、興味関心がある作者やテーマに関わる本を、絵本から書物まで色々と集めて読むことが、知識の奥行きを広げることや自分自身の土台形成になることから、良い本と出会えるためのサポートということも、読書活動の推進には必要だと考えている。

今まであったものが無くなってしまふのは仕方がない部分もあるかと思っており、

馬場副会長	<p>そういった状況の中でも、ただ教科書を読むことや読書をするのではなく、その先に繋がる読み方といった、たくましい読みの力というものを子どもたちには身につけられるようにしていきたいと考えている。</p> <p>そのため、学校におけるデジタル化とは真反対な動きとなっていることも理解している。3年前から、急ピッチで進められた学校のデジタル化だが、一気に進めたことで、デジタルに向くもの向かないものというのがようやく見えてきた。デジタルは万能という訳ではない。デジタルにすることが子どもに全て必要ではなく、使い分ける必要があるということを感じさせてもらった。これは、ある意味、デジタル化が進んだことで、そうでない部分の良さに気づけたということが言える。</p> <p>学校現場としては、まだまだ課題がたくさんあると思っており、時代の流れと、大事なものを見失わない目を持ちながらそれぞれに対応していきたいと考えている。</p>
事務局	貴重な意見をいただき感謝する。
高野会長	家読（うちどく）については、馬場副会長はどのように考えられているか。
馬場副会長	<p>とても大切な取組だと思っている。「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」、というものが定められており、本校でも読書週間と絡めて、イベントを実施しているところである。学校では全校朝会というものがあり、校長先生が話す時間を設けているのだが、私もその読書週間の時期は、全校生徒の前で絵本の読み聞かせを一部行っている。必ず本の冒頭部分と面白そうな部分だけを読んで終わらせており、この本は学校のどこかから見つけて皆の前で読んでいる、と言うと子どもたちの興味がそそられ、本を探す子が多くいる。また、そういった興味を持たせられる本を選書することも大切かと思っており、図書館においては子どもや保護者に向けて紹介していてももらいたい。</p>
高野会長	貴重なお話をいただき感謝する。他に質問はあるか。
木村委員	<p>この計画素案を読んでいた際に、朝読書が実施されなくなったことについてとても気になっていたが、馬場副会長の話を聞き理解した。来年の3月に改訂するというので、今回の貴重な意見を踏まえながら、それぞれの実態把握に努め、計画に落とし込んでいただきたい。</p>
事務局	ご意見感謝する。
高野会長	他に質問はあるか。
中村委員	<p>資料3において誤字が2点確認できたので報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7ページ注釈 照会⇒紹介</li> </ul>

中村委員 事務局	・ 8 ページ注釈 子どもの読書活推 ⇒ 子どもの読書活動 報告いただき感謝する。
中村委員	計画の内容とは関係ないが、資料 3 にて拡大読書器について記載があるが、図書館内に設置されているのか。
事務局	図書館のレファレンスカウンターに設置している。
中村委員	小型のものか、それともテレビに映すようなものか。
事務局	ブラウン管テレビのような大きさものを設置している。職員に声を掛けていただければ使用可能である。
高野会長	他に質問はあるか。 - 質問なし -
	<b>(4) 調べる学習コンクールについて</b>
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料 4 に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。 - 質問なし -
高野会長	それでは議事を終了とする。
	5 その他
事務局	・ 第 2 回図書館協議会について、令和 7 年 2 月頃開催予定
	6 閉会のあいさつ
馬場副会長	- 副会長あいさつ - (午後 3 時 25 分終了)
	以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。
	令和 6 年 8 月 17 日
	署名委員 野上 文子 (自署)                      署名委員 木村 嘉男 (自署)